

二人部

和書門類				
二	一	六	二	二
一	〇	六	七	四
二	〇	六	九	二
冊	架	函	號	類

內閣文庫			
九	二	二	和
九	二	七	書
函	一	二	
九	二	九	
架	冊	號	類

內閣文庫	
番號	和 24729
冊數	212 (44)
函號	199 216



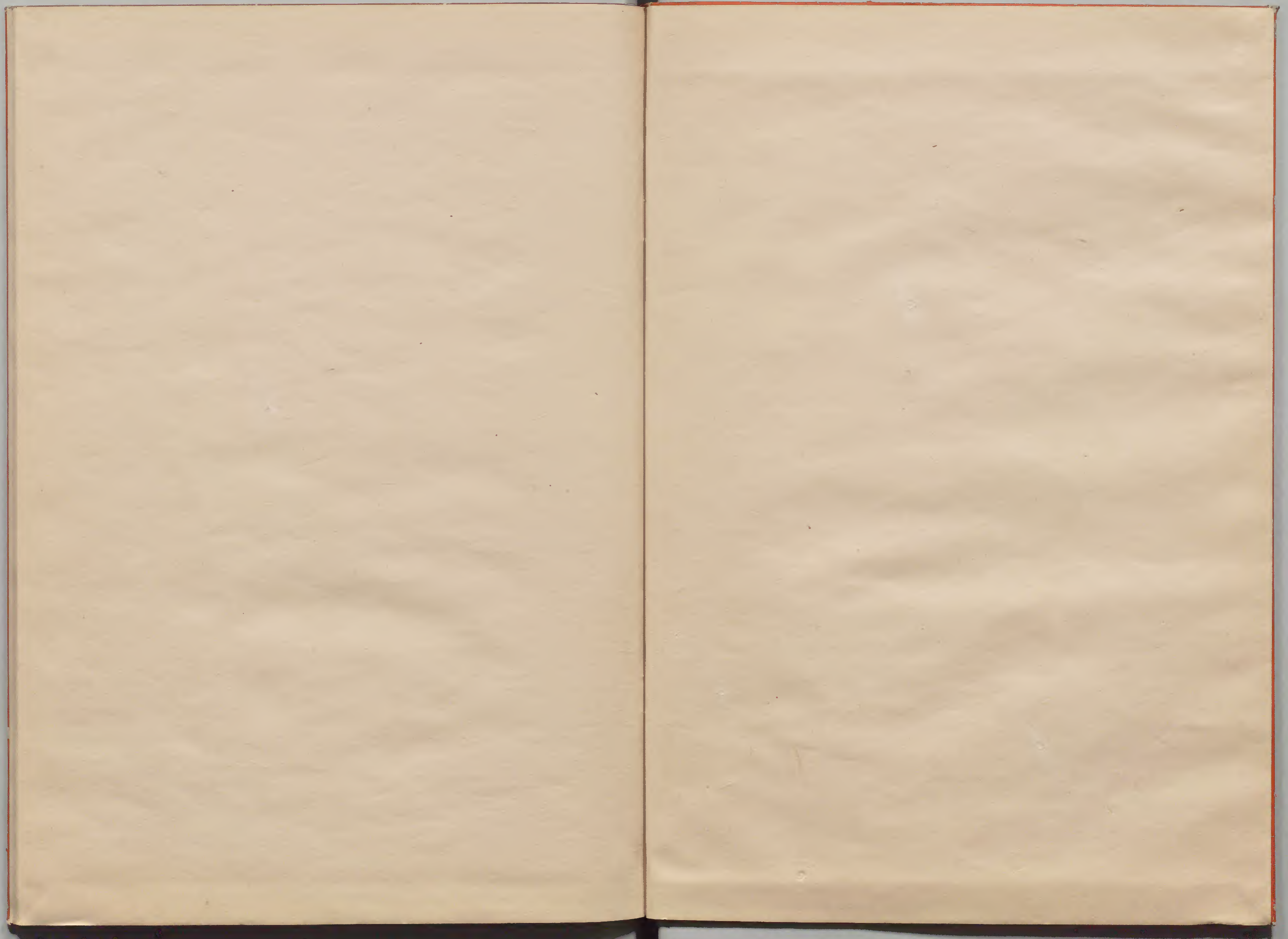
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





シシナ
女も子夏文川へ出まへ
柔見わらぎ松城口まき山
づよつちり雪あへん
よと松の雪はほあへ都ハ
お国の若菜つぎはも今ハ
ぬえん実のやあうりき
上
木の子雪雨ふるもあ
あ

きつち此野の雪の下あ
美榮を今いくり有てはま
梅の雪はあはれ
この山も雪志雪
乃消あとしそみちとあれ
まはし何やま道やま
おはくあはれ人よま

幸コトの作

何ニの事ゴトしてんぞ

又マタ一ヒトの事コトして社家シヤケの人ヒト其ソノ事コト乃ハカ

人ヒトの言コト傳ツテ申マツゆゑハわらわ

罪ガイ業ゴウ乃ホド福ホトの事コト乃ハ日ヒ々ニ々ニ

乃ハ救ワカ然アトとてイたゞタ終マシとヨク終マシ

信オフセ入ニあハらハるコト乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ言コト傳ツテをオフセ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ乃ハ乃ハのコト事コトをオフセ信ニ

むらうき事コトころんつね傾ヤガテ路カハ
此コソよりらむと思オモひんニイカるふり作
只今タジマ夢カヘをてん 何ナニとて得カソく夢カヘ
たむカソがヒまコトるコトらイちイと
海ウミくカエつコトてんコトはコトてコトあコトるコトれ
夏ナツにヒらホトるホトよトモてトモくトモあトモく
昔コトナきコトらコトうコトのコト牙ガイ乃ノ罪ザイ業ゴウと

のあーみ一日イチニチキヤウ経ケうケてケ強アト弟トモちトモく
給タマつタマとタマいタマうタマのタマ人ヒトをコトりコトキシヤケ社シヤ家ケの
んヒトふヒトもヒトもヒトんヒトらヒトもヒト思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ
かマコトらマコトんマコト行ユクむユクドドらドらドもド思オモひオモたオモふオモ

雲と思ひまほしき味ゆれを
上巻の二九二九ス、アラハ、モ、ハ、イ、ト、
 見え梅の花も野も物もあつ
中、ス、イ、タ、リ、ニ、ヲ、キ、
 りらうぐらやあ言語道に
シ、キ、コ、ト、モ、キ、ヤ、ウ、キ、
 思ひある事のもつれ抱氣して
イ、カ、ヤ、ウ、ヒ、ト、ツ、キ、
 作さうしらする指あつ人の付さ
ナ、ロ、
 たるがみそりあつ然あとも
ト、ム、ラ、マ、イ、
 多しあつとへー
ヒ、イ、ナ、
 今ハ行とら

けりるをた判官殿は位
モノナリ、ハ、キ、
 者 判官は乃ち乃人
コ、ロ、モ、ガ、ハ、ヒ、ト、
 もも子衣乃乃清寂期
コ、ロ、モ、ガ、ハ、ヒ、ト、
 下は
シ、ウ、ラ、ウ、ゴ、シ、ノ、カ、ミ、
 下は
シ、ウ、ラ、ウ、ゴ、シ、ノ、カ、ミ、
 の清記は心静しをら
ホ、ホ、ホ、
 婿よりみで入みよ
ホ、ホ、ホ、
 いられはうよめあつ
ド、モ、
 婿よりみで入みよ
ホ、ホ、ホ、
 いられはうよめあつ
ド、モ、

我も女もろくろの山に供する
 まて松をわたりて終ぬ思ひ
 涙の袖 つまみあぐる我名を静
 するはるをさけやうそ静
 ぶすまもるや静もわらふ
 隠きあま舞の上平よて有あり
 舞をまろてつとせと心とハ舞ふ

予いづれに我き舞の社東
 せと勝平の社よをらや也はら
 舞の志もハ何色ぞ 禱の精也
 考予と世を秋の歩み花づく
 是ハあまろありとて宿を
 りまもるる遠なるもあま舞の
 衣裳の具をらわてとく

舞^{マヒ}と^{シヅカ}静^カ山^ゴ前^{ゼン}乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 家^ウく^レも^シて^ゴ後^ラん^シ久^クら^シも^シや
 我^ワら^シも^シ昔^{ムカシ}の^ニ思^シは^レる^トも^シら^ズ
 る^トも^シ思^{オモ}ひ^ヒ乃^ニ時^{トキ}も^シき^タら^ズ
 静^{シヅ}乃^カ舞^{マヒ}今^{イマ}も^シの^ノの^ノ名^ナは
 後^{ノチ}上^ノの^ノ女^メと^シ思^シは^レる^トも^シら^ズ
 山^{ヤマ}の^ノ名^ナも^シあ^リま^ス後^{ノチ}乃^ニ都^ト
 山^{ヤマ}の^ノ名^ナも^シあ^リま^ス後^{ノチ}乃^ニ都^ト

下^{シタ}ニ^シス^ルも^シ義^ギ經^{キョウ}乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 討^{ウチ}年^{ネン}向^{カウ}ま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス神^{カン}乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス海^{カイ}乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス地^チ乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス科^カ乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ
 乃^ノあ^リま^ス乃^ニま^ハじ^シと^{オシ}ま^シに^ハ有^ルせ

道せつ死つとて此山よそ又
 給もはまの可なりはてのそ
 客の志はげしき長閑あはる長
 あ〜もはたきめと花もさ
 物は一栄一楽まらにありはる世
 こそ又此山をたててくまら
 清見屋の天宮に思ひげもあま

松さうわて池山よすの雪の本
 陰を頼見給ひまの梅木乃宮神の
 名もたき江の乃御我くむらむ
 毎ても浪とわらうありあはるそ
 みよのせの軒まは流乃草乃雪
 庭もたまの奥山の音らわら
 雲の光乃月影をそ程あり

山少きもいほし行有候ハ諸君の
らあてハ花よりを桜へ遊子月
了也きもいとやうらまきる香の
花を少びでいぢあて惜少年の
雲の長も志はれありてはわきえ
よりの山月も教花はも世平の
あやめとほよのそみよの奥

深くいほ山路くれうれのみあらす
うりも鑑倉よら寄られ志所ハ
舞の上平ありとくし有い
心もとせぬ舞の袖をすくもり
やいそ昔寄も時和教もづや
志はれもいづつのをたまはる
あやめとほよのそみよの奥

トニ人
思の心せを
しよ
も
く
り
ん

も
あ
ら
う
ま
い
も
れ
の
衣
川

身
ら
う
の
心
を
は
た
め
め
め
め

お
の
物
も
と
よ
浮
世
の
あ
ら
は
れ
を

や
思
ふ
ら
り
ら
い
山
桜
を
あ
ら
は
し
な
す

花
の
心
静
け
を
あ
ら
は
し
な
す

